

図説 五重相伝・授戒会

一 基礎篇

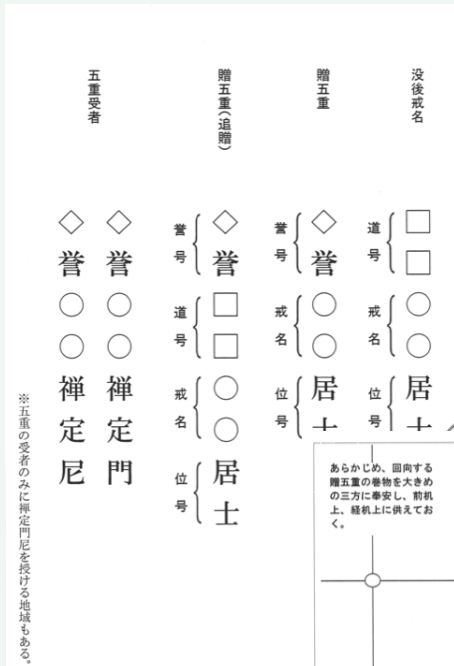
五重伝法の歴史 / 授戒の沿革 / 五重相伝・授戒会の現代的意義

二 実践編

五重相伝・授戒会の準備 / 開白法要 / 勸誡作法 / 贈五重 / 剃度式 /

懺悔会 / 要偈道場 / 密室道場 / 成満会 / 正授戒 / 表白類

「五重相伝・授戒会の準備」より



「五重相伝・授戒会の準備」より

五重相伝のご案内

五重相伝は「浄土宗の信仰を正しく身につけ阿彌陀如來の光明の中、人間としての正しい生活の基礎を身につけて頂く」大切な法要です。
この度当山に於いて下記により五重相伝を厳密に執り行うことになりました。この世に人間として尊い生命を受けた以上、二度とない人生、「み仏の立派な教えと念仏の有り難さ」により、生きる喜びと感動を体得しましょう。身辺阿かとお多忙のことは存じますが、是非御参詣下さいませ。
また、この機会に亡き父母、御先祖等、縁ある善信への報恩感謝の礼拝、贈回向も奉修されます。回向とは「廻し向ける」ことで、亡き人に礼拝回向を捧げることは最大の供養となり、その家の喜びとなるでしょう。
まずは、御案内、並びにお願ひ申し上げます。

合掌
○○寺 住職 ○○○ 総代一同

日/時	○日(金)	○日(土)	○日(日)	○日(月)	○日(火)
7:00	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
7:30	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
8:00	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
8:30	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
9:00	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
10:00	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
10:30	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
11:30	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
12:00	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
13:00	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
13:30	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
14:30	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
15:00	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
15:30	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
16:30	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足
17:00	大集足	大集足	大集足	大集足	大集足

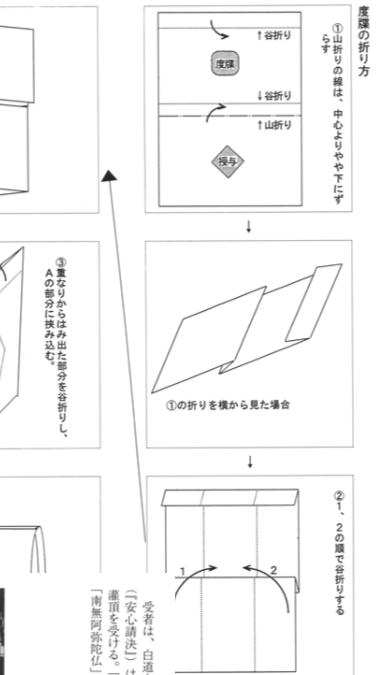
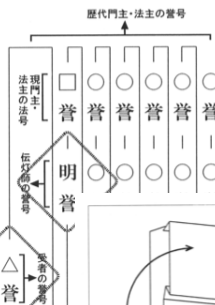
記
期 日 平成○○年○月○日(金) 入行 ○日(土)
日中特別回向 金○○円以上 日中にて毎日特別回向

戒名	金額	死亡年月日	俗名	年齢
		年 月 日	才	才
		年 月 日	才	才
		年 月 日	才	才
		年 月 日	才	才
		年 月 日	才	才
		年 月 日	才	才
		年 月 日	才	才

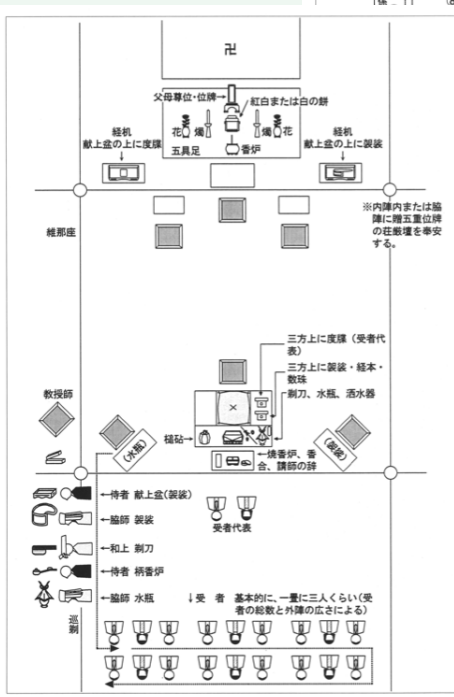
右代々相承之旨趣
令授與弟子
早守此旨可披為安心決定之狀如件

平成○○年○月○日
○○山○○寺○○世

傳燈佛子 明譽



「剃度式」より



「要偈道場」より



受者は、白蓮と蓮華の水と伝授法をする。左脇師(安心清光)は蓮華の水をする。受者は、合掌低頭して蓮華をかける。「弥陀水沐浴頂 南無阿彌陀仏」または、「南無阿彌陀仏」と称える。

右脇師(剃度)は、伝授法をする。「これは是れ六」の文は省略し、「南無阿彌陀仏」と称える。受者は両手でいたく、受者は本尊に一拝した後、蓮華をかける。蓮華は受者が全員退堂し終わるまで木魚念仏する。